



3月3日ひな祭の日に子ども食堂を開きました。

二戸市堀野地区の生きいき交流センターで、3月3日、子ども食堂を開きました。20人近い子どもたちが、7段飾りの見事なおひな様の前で、福高の高校生ボランティアたちと元気に遊びました。卓上カーリングなどの遊具は、二戸市社会福祉協議会で用意してくれました。お絵描きやお手玉も楽しそうでした。95歳のおばあさんも来てくれました。お昼のメニューは、ひな祭らしく春色ちらし、せんべい汁、たまご焼きなどです。

にこにこ食堂ざしきわらしの家（代表・中村久美子）としては5回目となるイベントでした。この日は、ボランティアの皆さんを含めて総勢60人が参加しました。子ども食堂は、いつも、とても多くの方々や会社・団体などがサポートしてくださっています。ありがとうございます。



★7段の雛飾りは村松の浪岡眞雄さんに借りました。しばらく眠っていたというお宝を引っ張り出してくれました。盛岡から駆けつけた大谷佳代子さんが手際よく飾り付けてくれました。2人は福岡高校のOB同期です。

★この日は、インドネシアやベトナム、中国の技能実習生の女性たち十数人が「日本語教室」（二戸市国際交流協会主催）で学んでいました。休憩時間に、おひな様を観に来てくれました。大谷さんが、雛飾りの7分間即席講座を開いてくれて、皆さん、興味津々でした。

★高校生ボランティアの皆さん13人は、ちびっ子たちと遊ぶのがとても上手です。見守りながら、楽しく、元気いっぱい！

★食の匠の安藤直美さんを中心とする調理ボランティアのおばさたちは、前の日に集まって下ごしらえをしました。

★せんべい汁は、志賀煎餅さんからおせんべいを、岩手缶詰さんからサバ水煮缶を頂きました。たまご焼きは鮎処たけ田さんから、お漬け物は足沢の上野光子さんからの差し入れです。

★明治安田生命二戸営業所さんからは、お菓子のおみやげを頂きました。カシオペア子どもの居場所づくりの代表・平野優子さんからは、粉末のスポーツドリンクのおみやげも頂きました。

★受付は、ひめぼたる五行歌会の山田憲路くんが手伝ってくれました。浪岡さんも、ひめぼたるのメンバーです。



私たちの子ども食堂活動は、歳末たすけあい義援金の配分や、岩手県共同募金会、子どもの居場所ネットワークいわての協力金で運営しています。

ざしきわらしの家管理人・田中信明